

第13回 茨城大学人文社会科学部 地域史シンポジウム

【基調講演】

「豊臣政権期 佐竹氏の権力構造」
大正大学文学部教授 佐々木倫朗

【報告】

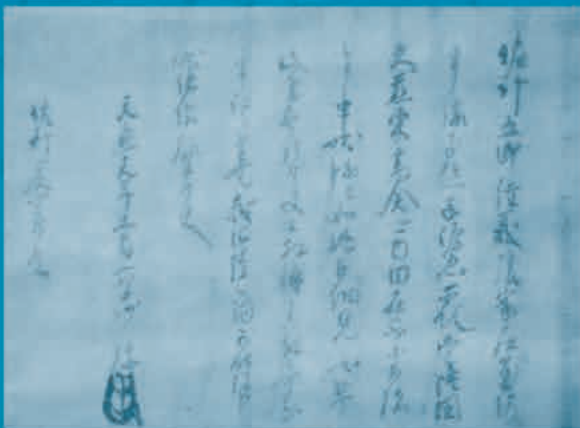
「『常陸奥郡十年戦争』試論」
茨城大学人文社会科学部教授 高橋 修

「部垂の乱と佐竹氏」 水戸第一高等学校教諭 山縣創明

「佐竹『洞』と常陸平氏」 筑波技術大学職員 中根正人

「戦国期 佐竹氏の権力編成 —江戸氏・小野崎氏の位置—」
東北大学大学院生 泉田那彦

「常陸佐竹氏の終焉—関ヶ原合戦と秋田転封—」
東海村立図書館嘱託司書 森本悠介



佐竹彦四郎宛沙弥某奉書 個人蔵

異説？ 新説！ 佐竹一族

佐竹氏の祖となる新羅三郎義光が常陸国内にいかわりをもつようになったのは、おそらく十一世紀末のことです。金砂合戦・佐竹の乱・部垂の乱など、幾多の戦乱を乗り越え、地域権力として自立した佐竹氏は、豊臣政権のもとで常陸一國を領する大名となりました。関ヶ原合戦の後、秋田に転封となるまで約五〇〇年間、この地域を領した武家・佐竹氏に関する研究の進展は自覚ましく、近年、多くの事実が明らかになりつつあります。今年度の地域史シンポジウムでは、そうした佐竹氏研究の最新線の成果を、市民の皆様にもわかりやすくお届けします。

【会期】

2018年1月28日(日) 12時30分～17時

【会場】 茨城大学人文社会科学部棟10番教室

【主催】 茨城大学人文社会科学部

【後援】 茨城県教育委員会 常陸太田市教育委員会 常陸大宮市教育委員会

茨城大学五浦美術文化研究所 茨城大学中世史研究会

入場無料、申込み不要、先着280名

特別公開

新発見！元禄元年（1319）11月6日付佐竹彦四郎宛沙弥某奉書

※佐竹一族宛での現存最古の古文書が発見されました。所蔵者のご好意により、実物が初めて公開されます。1日限りの限定公開です。お見逃しなく。

【日時】 2018年1月28日(日) 11時～17時

【場所】 茨城大学図書館 展示室

【問合せ】 e-mail: osamu.takahashi.nzn@ve.ibaraki.ac.jp (高橋 修 研究室)



茨城大学水戸キャンパス
JR 水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行栄町経由」に乗車、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)